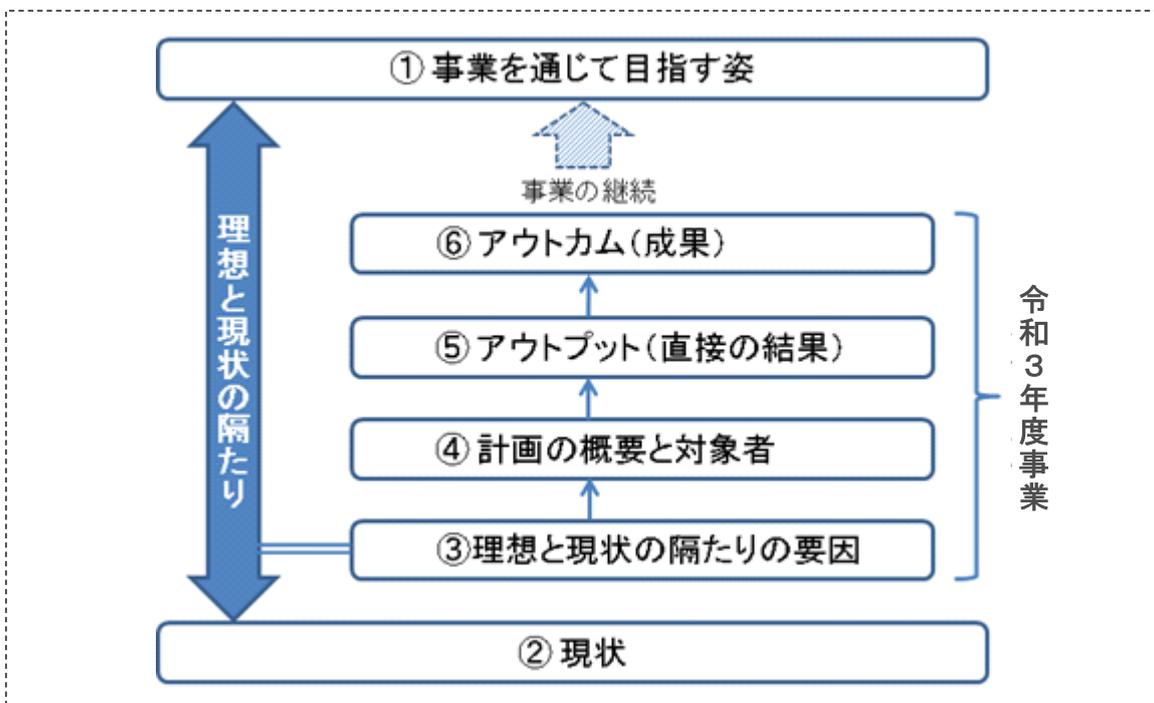


事業計画書

事業名	おでかけ子育てひろば	
グループ名	おでかけ子育てひろばプロジェクト実行委員会	
代表団体	名称	一般社団法人にいみ木のおもちゃの会
	住所	岡山県新見市新見2265-6
	担当者	藤本 忠男
	電話番号	090-1016-2252
	E-mail	fu-yo-ma-se@mx32.tiki.ne.jp

◆ 記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



◆ アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。アウトカムには、アウトプットに直結した短期のものと、目指す姿へつながる長期のものがああります。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると、まず、○○○というアウトプットが生じ、次にその成果として、△△△というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施→アウトプット→アウトカム

◆ アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム (短期)	アウトカム (長期)
学習支援事業	学習会の開催	月4回, 各回20名参加	参加者の学習意欲の向上	家庭での学習習慣の定着
就労支援事業	冊子作成・配布	1千冊作成, 800人に配布	就労に必要な知識の習得	就労の定着, 経済的自立
保護者支援事業	居場所の運営	週2回, 各回15名参加	育児の負担感の緩和	子どもの健やかな成長
移動支援事業	高齢者の送迎	週2回, 各回5名利用	移動手段の選択肢の増加	移動困難者の減少

1 事業を通じて目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。事業の実施により、地域課題が改善に向かった後、「どのような地域・人が、どのような状態になっていることを目指すのか」について、具体的に記入してください。

高梁川流域に住む子育て中の母親達の気軽に集い交流できる居場所(ひろば)を展開することで、「子育ての悩み」、「産後のからだの悩み」「おやこの交流」など、子育てに関わる母親達のニーズにタイムリーに対応できる。特に課題を抱えたまま孤独な子育てをしていた母親たちを必要に応じて福祉サービスや医療等の関係機関に繋ぐことを目指す。母親同士の交流が広がることによって、地域の中での子育て支援の体制づくりが緩やかに進み、「みんなで子育て」「社会で子育て」が可能になる。

2 現状

1「**事業を通じて目指す姿**」と比べて、現状はどのような状況にありますか。「どのような地域・人が、どのような状況にあるのか」について、具体的に記入してください。

子育てや自分の悩みを誰かに相談できている母親は少ない。保健師や行政の子育て相談はあるもののそこに相談できるのは一握りの母親である。子育ての不安を抱いたままネット情報や SNS を相手に「孤独な子育て」をしている母親達はどこにも存在していることを、私達2団体はこれまでの活動の中で実感している。

コロナ禍により、その傾向はさらに加速されている。近隣の施設や公民館等での集まりの機会が減少し、家から出かけての交流が制限されている。人との交流は自粛を求められ、行政主導の子育て支援は緊急事態宣言によって一気に閉ざされて、オンラインか電話での相談に限られている。温かいふれあいによって子ども同士、親同士が交流することで、深まる関係づくりは期待できない状況にある。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

1「**事業を通じて目指す姿**」と2「**現状**」との隔たりを生み出している、主な原因はどのようなものと考えますか。

社会全体で子育てをすることが推進されているが、「子育ては母親(家族)がすべき」という昔ながらの考えを持った人が未だに多い。その中で子育て当事者は困っていても声を上げにくい状況にある。支援したいと思っても躊躇しがちである。

4 計画の概要と対象者（令和3年度）

(1) 事業の形式

次のいずれか該当する事業の形式に☑をしてください（両方でも可）。

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 実践を通じてグループ内でノウハウを受け継ぐ事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> グループ内の団体それぞれが持つノウハウを持ち寄り，地域の新たな催しや地域資源を開発する事業 |

(2) 計画の概要

3 「目指す姿と現状の隔たりの要因」を取り除くため，どのような事業を実施しますか。
「どのような地域・人に対して，どのような活動を行うのか」について，簡潔に記入してください。（※計画の詳細は下記7に記入してください）。

ぽっかぽかの「子育て支援ネットワーク」といみ木のおもちゃの会の「移動木のおもちゃひろば」とのコラボにより、子育て中の母親達へ「木のおもちゃで遊ぶ」ことをきっかけに、気楽な交流の機会を設定していく。必要があれば、内科医、小児科医、助産師、理学療法士、保健師との連携により専門機関につなぐ。

5 アウトプット（直接の結果）

(1) 事業を通じて提供するサービス

事業を通じて，「どのような地域・人に対し，どのようなサービスを提供するのか」について，具体的に記入してください。

高梁川流域の7市3町に住んでいる交流を必要としている親子に向け、「おでかけ子育てひろば」として広く呼びかける。「木のおもちゃ」を交流のツールとし、「産後の悩み相談」「おやこどうしの交流」ができる「おやこの居場所づくり」の支援を行う。医師、保健師、理学療法士、社会福祉士等と連携することにより、母親の子育て課題を含め総合的に対応していく。
--

(2) アウトプットを測る指標と数値目標

事業のアウトプットを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が，現状はどの程度で，それをどの程度にしたいのか」について，具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実績後の数値目標
おでかけ子育てひろば依頼数	0件	20件 (現時点で、倉敷市2件受け)

(3) アウトプットの測定方法

事業を通じて、アウトプットを測る指標をどのように測りますか。数値目標の達成状況を把握できる、具体的な方法を記入してください。

「おでかけ子育てひろば」の実施数が指標となる。コロナ禍により、厳しい状況ではあるが、0歳児から3歳児とその母親を対象とした「おでかけ子育てひろば」は、昨年度も三密を回避した対処法で実施してきた。

6 アウトカム（事業の成果）

(1) 長期のアウトカム

1 **「事業を通じて目指す姿」**の一段階手前の状況はどのようなものですか。最終的に実現しようとしている、地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

「孤独の子育て」から「みんなで子育て」という地域の人々が、適度な距離感を保ちながら乳幼児、子どもへの温かい眼差しを向けていける子育て環境を醸成していく。

(2) 短期のアウトカム

今年度の事業のアウトプットを通じて、実現したい成果はどのようなものですか。アウトプットから今年度中に導かれる地域・人の変化や効果を具体的に記入してください。

「にいみ木のおもちゃの会」として、昨年度、倉敷市の母子グループ2団体への「出前木のおもちゃ広場」を実施した経緯がある。口コミで今年度も2団体から依頼がきている。「木のおもちゃ広場」の人気は、母親が我が子に「木のおもちゃで楽しく豊かに遊ばせたいという」という想いから生まれている。親同士のネットワークは、出会うことから始まる。子育ての悩みや喜びを共有できる居場所づくりが少しずつでもできていくことが、「みんなで子育て」に繋がる。

(3) 短期のアウトカムを測る指標と数値目標

事業のアウトカムを測る指標はどのようなものですか。「どのような項目が、現状はどの程度で、それをどの程度にしたいのか」について、具体的に記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
おでかけ子育てひろばの 依頼数	0	20

7 計画の詳細

(1) 事業の具体的な内容

【内 容】

- ・「おでかけ子育てひろば」の募集を7市3町の行政機関と連携で行う。
- ・「木のおもちゃ」を交流のツールとして位置づけ、乳幼児が普段着感覚で遊ぶことのできる空間づくりと母親の悩みにも対応できる専門スタッフの帯同を図る。
- ・依頼者との事前の打ち合わせ協議の場を必ず設定し、事前に依頼者のニーズを把握し、当日プログラムに活かしていく。
- ・アンケートや個別の聞き取りによる事業内容の評価と分析を行い、次の活動に繋げていく。

【対象者】

高梁川流域7市3町に住所のある、0歳児から3歳児までの乳幼児とその母親を対象とする。

【実施期間】

令和3年7月1日～令和4年4月1日

【実施場所】

高梁川流域7市3町内の依頼があった場所。公的施設、店舗、公民館等。

【ねらい】

「おでかけ子育てひろば」の開催により、おやこの居場所づくりや母親への子育て支援など豊かな子育て環境の充実を図る。

(2) 事業のスケジュール（準備～実施～報告）

7月	①プロジェクトスタッフ会議（プログラム内容の検討とスケジュール調整、医師、理学療法士との連携） 「おでかけ子育てひろば」の募集開始
8月	前半（8月～12月）実施
9月	事業内容の共有化を図り、計画の修正を適宜行う
10月	②プロジェクトスタッフ会議
12月	中間報告と事業検討、分析
1月	後半（1月～3月）実施
2月	アンケート結果のまとめと分析
	③プロジェクトスタッフ会議（活動内容のまとめと分析）
3月	実績報告書提出

8 ノウハウとその有効性

ノウハウとは、団体が過去に実施した活動の中で習得したり、成功や失敗の経験から得たりした、地域の課題解決に有効な手法や技術などの蓄積を言います。それぞれの団体が有するノウハウの内容と、それを事業にどのように活かせるのかについて、具体的に記入してください。

○NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽか

親子に寄り添いともに子育てしていくために、地域子育て支援拠点（倉敷市から委託）を十数年実施してきた経験から積み上げてきたスキルを生かす。子どもが育つために必要な環境づくりと子育てネットワークの構築を目指す。

○一般社団法人にいみ木のおもちゃの会

「木育」を切り口に、赤ちゃんからお年寄りまでが「木」を通しての豊かな交流活動を展開してきた。「木のおもちゃ」を人と人との交流ツールとして捉え、地域活性化に繋げていくアプローチ方法を開発し、実践してきている。

9 事業完了後の取り組み

補助金の交付条件として、事業の完了後1年以内に、事業の成果を活かした取り組みを実施することとしています。事業の成果が継続して地域に根付くのに有効な取り組みであれば、その規模や内容は問いません。事業完了後に予定している取り組みの内容を具体的に記入してください。

(1) 事業の実施主体となる団体名

一般社団法人にいみ木のおもちゃの会

(2) 事業完了後の取り組みの概要

- ・「おでかけ子育てひろば」の継続的、計画的実施を図る。各市町の母子グループの年間計画に位置づけられる活動内容にブラッシュアップしていく。
- ・NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽかの子育て支援の取り組みを取り入れながら、より広範囲での子育て支援活動と連携していく。
- ・高梁川流域の7市3町の子育て支援施策との連携を図る。学童期へのプログラム開発も行い、幼少期から連続した子育て支援に寄与したい。

10 SDGs との関係

次のSDGsの17のゴールのうち、申請する事業に関する番号を選び、1～2個記入してください。なお、当補助金の要件を満たせば17（パートナーシップで目標を達成しよう）に該当しますので、あらかじめ記入しています。

① 1 7 ③ _____ ⑩ 11

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは
 2030年に向けて世界が合意した持続可能な開発目標です。経済・社会・環境の諸課題の統合的な解決を目指し、17のゴールは基本コンセプトである「だれ一人取り残さない」を実現するために、分野別の目標としてまとめたものです。



収支予算書	所属・役職	氏名
経理責任者	NPO 法人子育て応援ナビぽっかぽか	田口 豊郁
経理担当者	一般社団法人にいみ木のおもちゃの会	藤本 忠男

1 収入の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
補助金		750,000	※千円未満切り捨て, 上限750千円
収入合計		750,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円)	積算根拠
人件費	スタッフ賃金	360,000	900円×5h×20日×4人
謝金	医師・理学療法士	150,000	10,000円×15回
旅費交通費	ガソリン代	80,000	1,000円×20回×4
消耗品費	カラーインク	30,000	6,000×5セット
	乳幼児用木のおもちゃ	60,000	1,500円×40個
	消毒液、消毒シート	40,000	800円×50セット
	体温検知器	8,000	4,000円×2台(非接触型)
	コピー用紙	3,000	300円×10部
	収納容器	10,000	2,000円×5個
印刷製本費	チラシ印刷代	5,000	50円×100枚
通信運搬費	郵券	4,000	チラシ郵送料
保険料		0	
使用料・賃借料		0	
委託料		0	
対象経費計		750,000	
食糧費		0	
その他		0	
対象外経費計		0	
支出合計		750,000	(収入合計と一致)

※金額は切り上げて千円単位で記入してください。